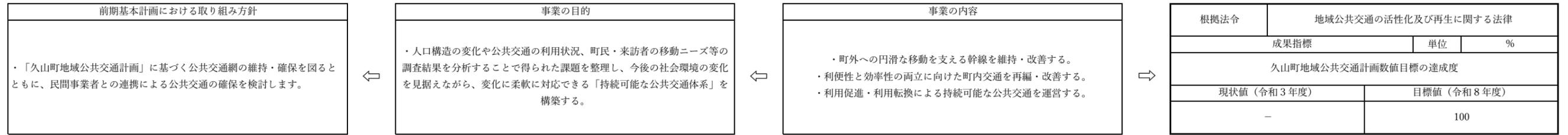


第4次久山町総合計画 前期基本計画対応 実施計画					分野			地域経営		政策	快適な生活基盤を整える			施策	④公共交通の充実		
実施年度	令和	5	年度	予算科目	会計			新規	事業名	コミュニティバス運行事業	担当課	経営デザイン課					
					1	2	1					12	担当者	亀井 隆行			

1. 事業概要



2. 実施内容 (実績)

年度	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度			
Plan (計画)	ダイヤ改正による、町外移動に関わる乗り継ぎを改善する。 ・町内巡回を再編する。 ・交通業者と連携した利用促進策を実施する。 ・福祉施策、教育施策と連携した利用促進策を実施する。			ダイヤ改正による、町外移動に関わる乗り継ぎを改善する。 ・町内巡回を再編する。 ・交通業者と連携した利用促進策を実施する。 ・福祉施策、教育施策と連携した利用促進策を実施する。			ダイヤ改正による、町外移動に関わる乗り継ぎを改善する。 ・交通業者と連携した利用促進策を実施する。 ・福祉施策、教育施策と連携した利用促進策を実施する。									
Do (実行)	・3/25にイコバスのダイヤ改正を行う。 ・町内巡回につきましては、山田線と久原線分けて運行を開始する。 ・利用促進策として高齢者MM、通学ガイドの作成を行う。			・3/23にイコバスのダイヤ改正を行う。 ・イコバス交通空白地の対策として、対象地域に居住の75歳以上の方を対象にタクシー助成金の支援策を制定する。 ・利用促進策として久山町地域公共交通総合時刻表、通学ガイドの作成を行う。												
活動実績	ダイヤ改正、ルート再編の実施回数			ダイヤ改正、ルート再編の実施回数			ダイヤ改正、ルート再編の実施回数									
	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	
	回	1	1	回	1	1	回	1								
	利用促進策の実施件数			利用促進策の実施件数			利用促進策の実施件数									
	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	
	件	3	3	件	3	2	件	2								
成果指標	久山町地域公共交通計画数値目標の達成度			久山町地域公共交通計画数値目標の達成度			久山町地域公共交通計画数値目標の達成度			久山町地域公共交通計画数値目標の達成度			久山町地域公共交通計画数値目標の達成度			
	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	
	%	100	75.2	%	100	85.1	%	100		%	100		%	100		
Check (評価)	B	年々イコバス利用者は増加しており、ニーズに合わせた改正等の柔軟な対応を行い、町民がより利用しやすい運行を心がけている。今後も運行会社等との情報共有を欠かさず行い、利便性の高いコミュニティバスの運行を継続していく。		B	年々イコバス利用者は増加しており、町民がより利用しやすいようニーズに合わせた改正等の対応を柔軟に行っている。今後、全国的な問題である運転手不足や車両更新などの課題解決に努め、利便性の高いコミュニティバスの運行を維持していく必要がある。											
Action (改善)	イコバス利用者は幹線で特に増加しており、ニーズに合わせた改正等の柔軟な対応を行い、町民がより利用しやすい運行ダイヤ編成を引き続き行っていく。町内巡回についても空白地対応など引き続き利便性の高いコミュニティバスの運行を目指していく。			イコバスの利用者は年々増加している。今後もニーズに合わせたダイヤ改正を行う。また、幹線系統の便については、利用者が増加しており、今後も現状の便数を維持していく必要がある。社会問題でもある運転手不足の対応を踏まえ、今後も利便性の高いコミュニティバス運行を目指していく。												
事業費	予算		決算		予算		決算		予算		決算		予算		決算	
直接事業費 (歳出)	61898	(千円)	60153	(千円)	68188	(千円)	65718	(千円)	85234	(千円)		(千円)	0	(千円)	0	(千円)
事業費財源	61898		60153		68188		65718		85234		0		0		0	
	特定	8168	8168	7829	7428	7408										
	地方債	0	0	0	0	0										
	一般	53730	51985	60359	58290	77826										
人件費	2685.32		2285.48		628.5		626.5		698.8		0		0		0	
	人員数	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1										
	人件費単価	7,898	6,722	6,285	6,265	6,988										
事業費合計	64,583		62,438		68,817		66,345		85,933		0		0		0	
町民一人あたりの負担額	6,102.912	円	5,870.887	円	6,549.345	円	6,326.944	円	8,432.646	円	0.000	円	0.000	円	0.000	円

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	事業名
暮らし1-4-93	コミュニティバス運行事業

PLAN(計画)⇒DO(実施)については総合計画進捗管理票にて記載

CHECK(評価)

No.1

自己評価	評価者	亀井 隆行	5 大 ← 小 1 ↓	評点	判定
1. そもそも必要な事業か？				5	A
町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。緊急性が高く、即時に実施しなければならない。実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。			4		
			5		
			4		
評価理由	イコバスは町民の移動手段の一つとして大きな役割を担っている。利用者の傾向を調査しながらニーズにあった改正を今後行う。				
2. 町が実施する必要があるか？				-	B
町が実施主体となることが法令等により定められている。公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。民間等や国・県で実施するよりも効果的である。民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。			4		
			2		
			5		
評価理由	町民のニーズにあった運行をしていくために、町が事業実施主体で運行することで、ダイヤや便数の調整が迅速な対応ができるため。				
3. 実施内容は適切か？					
①有効性					
久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。事業の手法・活動内容は適切である。事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。				5	A
				4	
				4	
評価理由	イコバスは令和2年から利用者数は年々増加している。今後も久山町地域公共交通活性化協議会で協議を行いながらニーズにあった運行を行っている。				
②効率性					
事業費に見合った成果を上げている。外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。				3	B
				4	
				4	
評価理由	一般財源の負担を減らすには利用者を増やしていく必要がある。運行の効率化等により、利用者ニーズにあった運行を実現し、効率性を上げる必要がある。				
③公平性・透明性					
受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)事業費に占める一般財源の額は妥当である。ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。				3	B
				3	
				4	
評価理由	時刻表については、久山町のホームページ以外にもYahoo!やGoogleなどにも掲載し簡単に検索ができるようにしている。また運休や遅延情報についてもLINEなどを使い情報発信を行っている。				

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化 <input checked="" type="checkbox"/> B現状のまま維持 <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E事業完了	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

自己評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

イコバスの利用者は年々増加している。しかしイコバス乗り込み調査時のアンケート結果を見ると令和4年度より満足度が下がった結果となった。利用者のニーズを分析し、さらに利便性があるようにダイヤ改正を行う。令和5年度はイコバス交通空白地の移動支援として、タクシーの利用助成を制定した。今後、利用状況を見ながら検証を行う。今後の課題として、社会問題でもある運転手不足やバス車両の更新により費用がかかることが予想される。今後、今の便数を維持していくためにも、運賃収入をあげていくための利用促進策を考えていく必要がある。

CHECK(評価)

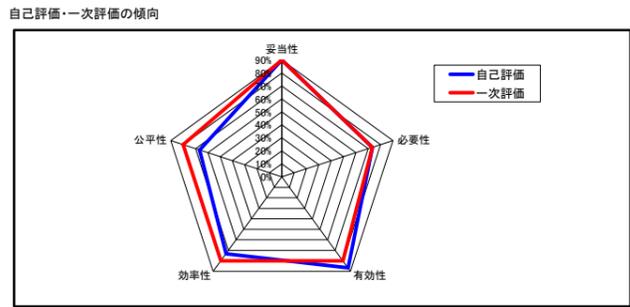
No.2

自己評価	評価者	山本 恵理子	5 大 ← 小 1 ↓	評点	判定
1. そもそも必要な事業か？				5	A
町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。緊急性が高く、即時に実施しなければならない。実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。			4		
			5		
			4		
評価理由	主に町民の通勤・通学の手段の一つであり、年々イコバス利用者は増加している。利用者のニーズに合わせた改正を行っていく必要がある。				
2. 町が実施する必要があるか？				-	B
町が実施主体となることが法令等により定められている。公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。民間等や国・県で実施するよりも効果的である。民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。			5		
			4		
			2		
評価理由	町民のニーズへの柔軟な対応を含めた運行維持のため、町が実施する必要があると考える。				
3. 実施内容は適切か？					
①有効性					
久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。事業の手法・活動内容は適切である。事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。				4	B
				4	
				4	
評価理由	久山町地域公共交通計画に基づき、久山町地域公共交通活性化協議会でダイヤ改正等の協議を適切に行っており、有効であると考える。				
②効率性					
事業費に見合った成果を上げている。外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。				4	B
				4	
				4	
評価理由	外部委託による効率化は図っており、町民の交通手段としてより良いものになるよう毎年改善を行っている。				
③公平性・透明性					
受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)事業費に占める一般財源の額は妥当である。ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。				4	B
				4	
				4	
評価理由	総合時刻表は年に1回全戸配布を行っており、イコバスに関する情報もホームページ等で随時情報発信している。				

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化 <input checked="" type="checkbox"/> B現状のまま維持 <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E事業完了	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

自己評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

年々イコバス利用者は増加しており、町民がより利用しやすくなるようニーズに合わせた改正等の対応を柔軟に行っている。今後、全国的な問題である運転手不足や車両更新などの課題解決に努め、利便性の高いコミュニティバスの運行を維持していく必要がある。



ACTION(評価・改善)

No.3

二次評価	評価者	小森 政彦
<input type="checkbox"/> A以下の点について、良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。 []		
<input type="checkbox"/> B計画どおり、現状のまま事業を継続する。 イコバスの利用者数は年々増加している。今後もニーズに合わせたダイヤ改正を行う。また、幹線系統の便については、利用者が増加しており、今後も現状の便数を維持していく必要がある。社会問題である運転手不足の対応を踏まえ、今後も利便性の高いコミュニティバス運行を目指していく。		
<input type="checkbox"/> C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するための計画の見直しを行う。 []		
<input type="checkbox"/> D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。 []		
<input type="checkbox"/> E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。 []		
<input type="checkbox"/> 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。 []		

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定

一次評価をやり直し、
月 日
までに提出すること。
[]

評価終了
 外部評価へ

ACTION(評価・改善)

No.4

外部評価	評価者	外部評価委員
今後の方向性 A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの <input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る) <input checked="" type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める) <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E完了		C見直しの具体的内容 <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他
評価 B		外部評価委員の意見 ・本事業は、町民にとってかけがえのないインフラである。持続可能な公共交通実現のための、継続して利用状況のデータ等を分析し、ダイヤ改正や新規バス車両の導入等を検討するとともに、コスト面の課題も検討する必要がある。 ・利用者以外の町民の意見についても把握し、現状の課題等を共有していく必要がある。 ・外出機会や人との出会い、運動など健康づくりのきっかけになるといった付加価値(ウェルビーイングの実現)を加えた更なる事業展開を図ると、町民の当事者意識も育まれるのではないかと。 ・成果指標について、100%としている目標値を現実的な数字に見直しはどうか？
経営者会議	評価者	経営者
今後の方向性 A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの <input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る) <input checked="" type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める) <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E完了		C見直しの具体的内容 <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他
評価 B		経営者会議の評価 本事業は、鉄道がない本町において、町内外への移動手段として必要不可欠なものであり、運行経費の赤字補填については、町民の利便性向上や移動手段の確保のために必要な投資である。 利用者以外のニーズについては、5年に1回の公共交通計画策定時に確認しており、よりよい運行の維持のためには、毎年公共交通の利用状況や町民・来訪者の移動ニーズ等について調査分析を行い、利便性と効率性の高い持続可能な公共交通体系の構築を行っている。その改善を続けてきた結果、令和5年度には、コロナ禍以前である令和元年度の約1.3倍の利用者数を達成した。これには、新しい事業である高齢者の外出支援事業による成果も出ている。 今後も引き続き、町民の利用状況にあわせてダイヤ改正等の対応を行い、持続可能な町内の公共交通体系の維持に努めていく。
令和7年度予算要求事項(今後の取り組み)	令和7年度は、引き続き公共交通の利用状況や町民・来訪者の移動ニーズ等について調査分析を行う。また、町民の利用状況にあわせてダイヤ改正等の対応を行い、持続可能な町内の公共交通体系の維持に努める。	